

かんさつのしかた

☆☆教科書P160(記ろくカードのかき方)を見ながら読んでね☆☆

①かんさつするもの・テーマを書こう。(ホウセンカのたね・チョウのたまごなど)

②しらべた日にちや天気を書こう。

③かんさつしたいものをよく見てみよう。大きさ・形・色など、なにをしらべるかをはっきりさせて記ろくしよう。

☆ひとつような時は、虫メガネをつかってもいいよ。

— 虫メガネのつかい方 —

①かんさつしたい物が動かせるとき (小さな花や葉など) は、手にもって前後に動かして見やすいところをさがしてかんさつしよう。

②かんさつしたい物が動かせないとき (大きな木やさわれない虫など) は、虫メガネを前後に動かしてかんさつしよう。

虫メガネをつかうときの注意

×虫メガネで、たいようはぜったいに見てはいけません。

×虫メガネをとおして、たいようの光をふくや物にあててはいけません。

④しらべて見つけたことを絵と文で書こう。

大きさ⇒じょうぎではかる。 形⇒丸い、細長いなど全体のようにすがわかりように

色⇒みんなにわかる色 (絵のぐや色えんぴつにあるような色)

— 絵をかくときのポイント —

①えんぴつで、こくははっきりした線で書こう。

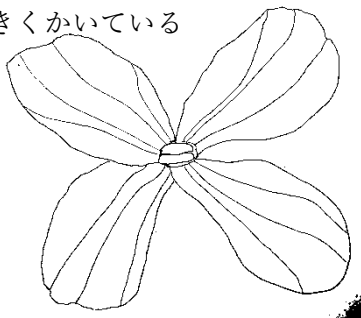
②花やはっぱなど、くわしくつたえたいことを考えて、紙いっぱい大きく書こう。

③数や形をよく見て、本物と同じ数やかたちになるようにがんばろう



アブラナ (花)

○花だけ大きくかいている



○線ではっきりかいている

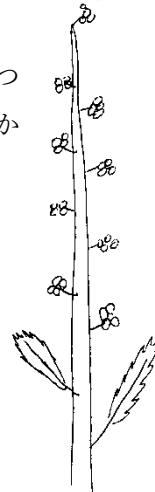
○花びらのようすもよくわかる



アブラナ

×大きいしよくぶつなどは、全体をかかない

×全体をかくために花やはっぱが小さくてよくわからない



×花の数がじっさいとちがう

⑤わかったこと・かんそうやぎもんを書こう。